

施工要領書

プロジェクター用壁紙 品番：K-409・410

特徴：プロジェクターで投映が可能なフィルム汚れ防止・抗菌タイプの壁紙です。

選択上の注意

- 間接照明の場合など、使用環境によっては下地が目立つことがあります。
- 一般ビニル壁紙と比較して施工難易度が高いため、施工費が割増しになる場合があります。

施工準備

- 低温時には商品が固くなっていることがあるため、室内を暖めてください。

下地調整

- 入念な下地処理を行い、施工面を平滑にしてください。
- モルタル・ベニヤ下地に施工する場合は、フクレやアクを防ぐため、シーラー処理をしてください。

接着剤塗布

- 接着剤

接着剤は NEW サンゲツ糊（BB-378）、ゼロホルマリン（BB-308）を適した糊に調合するかミックス糊（BB-307）を原液のまま使用することをおすすめします。低温時にはボンドを併用してください。

- オープンタイム・保管

オープンタイムは 15～30 分が目安です。オープンタイムは温度や湿度に左右されますので現場環境に合わせて調節してください。特に気温の低い時期には、オープンタイム不足はフクレ等の原因になることがあります。

- 糊付け後は折りジワがつかないように大きくたたみ、上積みは避けてください。

貼り付け

- 出隅の納めの際は折り曲げた壁紙の表面からきれいな布でしっかりと押さえてください。
- 重ね切りする場合は下地ボードの表面を切らないように下敷テープを入れて施工してください。
- 施工後は表面に付着した糊や汚れをきれいに拭き取ってください。拭き残しがあると変色の原因になることがあります。

使用上の注意

- 日常の汚れは、かたく絞ったスポンジやタオルで水拭きしてください。落ちにくい場合は中性洗剤や消毒用アルコールをご使用ください。壁紙表面に残った洗剤は変色の原因となりますので、真水かぬるま湯できれいに拭き取ってください。